

事務事業名	河川維持管理事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課		
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共土木G			
	施策名	〈10〉環境の保全・創造		担当者名	今岡亮			
	目的・対象	市民	意図	地域環境を守り、地球環境に配慮した生活をおくる。				
	基本事業	〈030〉生活環境の保全		予算科目	0:140:0:2	大事業名	河川施設管理事業	
目的・対象	市民	意図	生活環境を保全する。			1:510:0:9	中事業名	河川維持管理事業
電話番号:0854-40-1063 (内線):2473								

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市管理河川及び地域住民	河川維持管理により公共水域を保全する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H29 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・市河川の維持管理(護岸補修や堆積土の除去等を実施する。)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・市管理河川内の補修(15箇所)及び市河川の堆積土の除去(4箇所)	・平成27年度までは、各総合センターごとに事業実施に取り組んできたが、平成28年度からは、建設部建設工務課に集約し、事業を実施している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 環境美化等の環境保全・創造に向けて何らかの取り組みをしている市民の割合	%	67.6	63.6	63.7	63.7
イ 自然環境が守られていると感じる市民の割合	%	69.3	74.3	74.9	74.9
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
【内訳】 ・修繕費(15箇所) 4,199千円(市内河川補修及び土砂撤去等) ・工事費(4箇所) 9,437千円(市内河川土砂撤去) 【地方債】緊急浚渫推進事業債	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円	22,700	9,800	9,400	10,000	
		その他	千円					
		一般財源	千円	5,503	4,041	4,236	3,000	
事業費計		千円		28,203	13,841	13,636	13,000	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・市管理河川内の補修及び堆積土の除去を行い、公共水域の保全が図られた。
② 事業実施するうえでの課題	・市河川の浚渫など維持管理の要望が多数あるため、単年度では全ての要望に対応できない。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・緊急性の高い箇所から順次実施し、市河川の保全を図っている。 ・令和2年度から令和6年度にかけては、河川維持管理計画を作成し、有利な財源である緊急浚渫推進事業債を活用し、事業の促進を図っている。